



米富繊維株式会社

平成26年度採択

【対象類型】 ものづくり技術

【事業類型】 試作開発 設備投資

事業計画名

ニットと布帛の融合による高付加価値商品の生産体制強化



解反加湿器を導入

事業の背景・目的

当社は30年前より編地開発部門を設立し、企画提案型のメーカーをめざしてニット生地の開発に力を注いできた。特に複数の糸を組合せニット生地の編立する交編技術を得意とし、そのノウハウを蓄積してオリジナル性の高いニット商品を、企画開発から製造、販路開拓まで一貫して行ってきた。

8年前には自社ブランド「COOHEM」を立ち上げた。ニット業界に共通する秋冬物への片寄りを解決するため、ニットと異素材(布帛)融合商品を進めている。ニット製造に関しては十分なノウハウ、設備を有するが布帛製造に関しては不十分で、自社ブランドの生産規模であれば当社設備(手作業)や外注対応で可能であるが、本格生産を目指すには布帛製造に必要な設備導入と生産の内製化は不可欠である。

事業内容

本事業において、薄物専用ロックミシン・薄物専用本縫いミシン・解反加湿機・フラット式プレス機・業務用加湿器を導入した。薄物専用ロックミシンと薄物専用本縫いミシンは、布帛生地製品、または布帛をニット生地と縫い合わせる時に使用する。解反加湿機は、これまで手作業で行っており、蒸気のあたる部分が均等でないため、繊維の目の詰まり方が違い乱寸が出やすかった。また、アイロンをかけ、生地を引き上げる作業に時間がかかっていたのを解反作業と蒸気加湿を同時に自動で行うことが可能になり、作業の自動化を図った。フラット式プレス機は、これまで外注か手アイロン作業で行っていたので、非効率であったが導入することで内製化を進めた。業務用加湿器は布帛縫製全般に使用する。

業務内容

米富では40年以上に渡るテキスタイル(編地)の開発技術が世界でも類を見ないクオリティを実現。素材開発から商品開発、量産に至るまで自社ファクトリーにて一貫して行っている。

2013年 がんばる中小企業300社賞 受賞

2018年 ものづくり日本大賞 特別賞 受賞



代表取締役 大江 健

代表者:大江 健

設立年:昭和27年 8月

資本金:6,300万円

従業員:64名

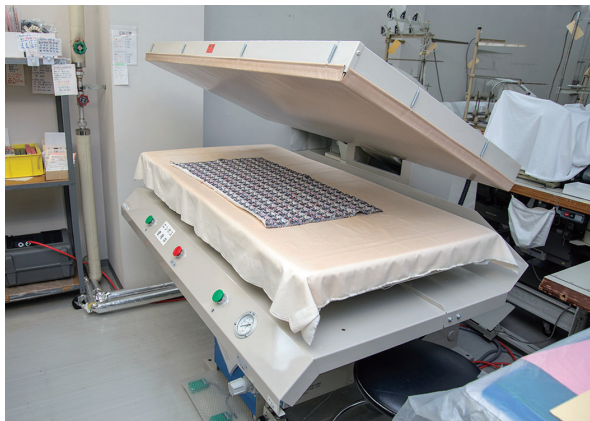
住所:山形県東村山郡山辺町大字山辺1136

電話:023-664-8166 FAX:023-664-8169

URL:<http://www.yonetomi.co.jp>

e-mail:info@yonetomi.co.jp

自社ブランド「COOHEM」の挑戦、ニット生地+布帛の融合 「同じものが他にない」 高付加価値のオリジナル商品を企画開発



フラット式プレス機を導入



ニットと布帛が融合した自社ブランド「COOHEM」の商品

事業の成果

本事業の新設備導入により作業効率が図られ、試作開発段階における多品種少量加工のリードタイム短縮を図ることが出来た。そのため、これからの企画開発においては、短時間での作業に対応できる環境が整ったことにより、アイテム数を増やすことが出来、顧客のニーズに合致した新商品開発に力を入れた製品コンセプトとして具体化出来る。

また今回導入した設備の中のフラット式プレス機は、生地と芯地の圧着以外に生地の特殊加工機としても活用出来ることから、新商品開発に役立ち、これまでに無い企画開発を行えることで社内全体のレベル向上につながっていくと考える。以上のことにより、秋冬物に片寄っている年間受注のバランスの解消に向け、確実に進んでいる。

今後の展望

ニット生地と異素材融合商品は、現在自社ブランドのみで製造、年々受注数は増えているが、作業時間がかかり、他製品の生産を圧迫している。昨今、編機はホールガーメント機への開発が急激に進んでいる。しかし、当社は高付加価値のある商品製造は人の技術、感性を重要視し、古い機械でも製造出来るニット生地と商品開発をめざしていくため、編機以外での設備環境を整え、自社ブランド商品開発を強化し、販路開拓と既存顧客への提供に努めていく。また、海外取引についてはパリの合同展示会に出展し、アジアを中心に取引先が拡大している。今後、世界の有力バイヤーとのつながりで拡大を図っていく。平成28年にメンズブランドを立ち上げ、オリジナル商品の企画開発の向上を目指す。